

令和3年 第63回 北海道ニセコ高等学校  
校内実績発表大会



日時 令和3年11月17日(水)

9:00~11:40

場所 ニセコ高校体育館

主催 北海道ニセコ高等学校農業クラブ執行部

学年\_\_\_\_氏名\_\_\_\_\_

専攻班名\_\_\_\_\_

日本学校農業クラブ連盟撰定

## FFJの歌

吉沢義之 作詞  
堀内敬三 作曲

一、みのもる稲穂に 富士と鳩

愛と平和を 表わした

旗はみどりの 風に鳴る

土に取りくむ 若人の

意気と熱とが もり上げた

FFJ FFJ われらの誇り

二、北に南に わきあがる

自主と自由の 情熱が

むすび花さく クラブこそ

学徒われらの 行く道を

照す光だ よろこびだ

FFJ FFJ われらの理想

三、香る大地に がつちりと

学と行とを 両の手に

伸びる生命の 遅しさ

明日の日本の 農業に

若い息吹きを 吹き入れる

FFJ FFJ われらの希望

## 令和3年度 校内実績発表大会 実施要項

### 1 目的

日ごろのプロジェクト活動の成果を発表し、クラブ員の3大目標を高めるとともに、専門的な知識・技能・態度を高めることを目的とする。

### 2 会場

本校体育館

### 3 日程

令和3年11月17日(水)

時 間	内 容	備 考
8:30～9:00	審査員：審査員会議（会議室）	
9:00～9:20	開会式	
9:20～10:35	発表（5発表）	
10:35～11:00	審査員：審査員会議（会議室） 生徒：農業クラブアトラクション	※農業科学コース4年生研修の報告会を実施
11:00～11:20	閉会式	
11:20～11:40	片付け アンケート・審査用紙記入（各教室）	

### 4 発表方法

- (1) 発表は視聴覚機器を使用した演台からの口頭発表とする。必要に応じ標本、模型などを使用した演示をしてもよい。また発表用スライドには音声・動画が挿入されていてもよい。
- (2) プロジェクターの台数は、1台とする。
- (3) 発表終了後に質疑応答を行う。

### 5 発表時間

- (1) 時間計測は表現開始より表現終了までとする。発表者の第一声、演示の開始のうち早いものを表現開始とし、「・・・終わります。」の声で終了とする。
- (2) 時間表示は8分（1鈴）、10分（2鈴）とし、打ち切りはしないものとする。
- (3) 発表準備のための時間は3分以内とし、2分で1鈴、3分で2鈴とする。

### 6 審査および審査会

- (1) 審査は発表分野ごとにプレイスナンバー方式で行い、最優秀、優秀を選出する。
- (2) 審査員は、審査をするとともに、発表に対する質疑応答および指導講評を行う。

### 7 事前提出書類

#### (1) 活動記録簿1冊

活動記録簿、記録写真等、発表に直接関係のある資料を、A4判ファイル1冊に整理したもの。

- (2) 発表原稿：A4片面印刷とし、活動テーマと専攻班名、分野を記載したものを6部提出すること。

8 審査員

外部審査員：3名

内部審査員：2名

9 表彰

最優秀賞～1班

優秀賞～2班

10 式次第

〈開会式〉

1. 開式の言葉
2. クラブ旗入場
3. F F Jの歌（1番のみ）
4. 農業クラブ代表挨拶
5. 農業クラブ会長挨拶
6. 審査員紹介
7. 審査員長挨拶
8. 閉式の言葉

〈閉会式〉

1. 開式の言葉
2. 結果発表
3. 審査講評（審査委員長）
4. 農業クラブ代表挨拶
5. 農業クラブ会長挨拶
6. クラブ旗退場
7. 閉式の言葉

## 各専攻班の活動について（※発表順に記載）

### 生活文化班

生活文化班は、ニセコの魅力がたくさん詰まったラーメン、「二高ヌードル」の開発を進めています。ニセコ町産の米粉や北海道産の小麦粉「きたほなみ」を使用した麺の開発と、ニセコで収穫された規格外の野菜や廃棄物を使用した出汁であるベジブrossのスープを試作しました。現在は、先生方の食味アンケートを取ったところ、厳しい意見をいただき、完成にはほど遠いのですが、コシのある麺作りを目指して改善に取り組んでいます。

### 環境農業班

農業と環境班では「カボチャ栽培プロジェクト 2021」と題して、全員が「北海道カボチャ」、「赤皮栗カボチャ」の2品種を栽培しました。農業と環境の授業を通して、ニセコ町内にある農業関連施設での見学実習や、花壇造成など様々な経験を積むことができました。今回の代表者は8グループに分かれ行った、クラス内プロジェクト発表会にて選ばれたチームです。初めての実績発表大会は緊張しますが、先輩方に負けず元気よく発表します。

### 2年地域環境班

私たちは先輩方の「北の伝統野菜プロジェクト」を引き継ぎ、九条ネギの有機栽培に挑戦しました。また、遠隔監視システムの「みまわり伝書鳩」を導入することでスマート農業を実践し、持続可能な農業を目指しています。

今年度はニセコ高校OBの入倉農園と山内農園にて共同栽培研究、Pikinini さんでのコラボ商品など地域との連携にも励んできました。

### 3年地域環境班

私たち地域環境班は主に校内の清掃やSDGsなどについての調べ物学習やそれに関連した動画作成なども行ってきました。動画作成ではゴミ削減と省エネと食品ロスの削減と節水と多言語対応の5つを動画にまとめました。

このように地域環境班は、より良い社会を創るためにはどのようなことをすれば良いのかを調べ実行しています。

### 環境農業班

今年度は、「Lavender Collaboration～もっとニセコで繋がるコラボ～」をテーマに活動してきました。

ルームフレグランスの継続として、6種類のルームフレグランスをニセコ道の駅、ニセコ倉庫群で販売中です。今年は、ニセコの夏をイメージした夏季限定商品「Sunny」を開発し、クラフトジンの開発にも携わりました。さらに昨年に引き続き、ルピシアグルマン、有島記念館と共にオリジナルティの開発を行っています。